

あじけん通信

株式会社きぼう国際外語学院
企画・編集 澁谷 健司



教室に飾られた鯉のぼり。「色の名前」の授業で、実習生の皆さんが作った作品です。

5月に入り、新緑が眩しい季節となりました。しかし、天候はなかなか安定せず、暑くてエアコンを冷房にして稼動する日があるかと思えば、次の日は寒くて暖房モードで稼動したりと、日本人の私たちでも音を上げるほどの寒暖差の激しい日が続いています。例年この時期は、体調を崩す実習生の皆さんは少ないのですが、今年は体の不調を訴える実習生が多くなっているのが心配です。

技能実習の開始を間近に控えた皆さんにとっては、体調不良への迅速対応は必須。そこで、本校日本語講師、スタッフにおいては、実習生の皆さんとの対話を通して、表情の変化や、声の調子など、言葉以外のサインにも常に気を配り、皆さんの体調不良に素早く対応できるように心掛けています。

あじけんスコープ VOL.64 講師ファイル 小野 吹雪

はじめまして。小野吹雪（おの ふぶき）と申します。本校に勤務して、10か月が経とうとしています。日々、実習生のパワーに驚かされています。

私が、授業で心がけていることは、コミュニケーションです。特に「分からないときの聞き返し」と「確認と報告」です。単語の暗記（名詞/動詞/形容詞）も大切ですが、実習先で大切なことは、日本人とのコミュニケーションではないかと思えます。そのため

授業初日に、「分からないときの聞き返し」「確認報告」を徹底的に教え込み、講習終了まで繰り返す会話練習や日本語の授業内で実施しています。限られた時間の中で、実習生の日本語力を上げていくことにとってもやりがいを感じますが、また責任も感じています。実習生が日本の高い技術を国へ持ち帰り、国へ貢献できるよう力になればと思います。



今月の実習生

今月は、アジ研近くのスーパーの前に出ているやきとり屋さんのあまーい匂いに誘われて？習いたての日本語を駆使して、焼き鳥を購入していたインドネシアからの実習生、向かって左から WAHYU SUSANT (ワヒュー)さん GARJITO NUGROHO (ジト)さん GUNAWAN (グン)さんを紹介しします



わたしはやきとりをはじめたべました。
あじがじいとおもいます。わたしはすきになりました。
(ワヒュー)

私は日本でやきとりをはじめたべました。インドネシアでよくやきとりをたべましたか？ここであじがよかったちがいます。私はほどちがもすきです。

あじがあまくておもしろいとおもいます。(ジト)

レ/まんのやきとりはやわらかくておもしろかったです。やきとりのおじいさんもやきとりです。みんなさんぜひやきとりをたべてみてくださーい。(グン)

あじけん流日本語授業

今月は、「朝の基礎トレーニング」の実践をご紹介します。この活動の目的は、全ての実習生の皆さんに、技能実習生として最低限身に付けてもらいたいこと4項目（①朝のあいさつ②カレンダーの読み方③数の数え方④天気の違い）を定着させることです。

本校では、今年に入ってから、全てのクラスで、毎朝この「朝の基礎トレーニング」が行われています。練習の進め方は、まずは、当番の実習生（毎日輪番で交代します）が前に出て、クラス全員と朝のあいさつを交わし、出席と健康状態の確認を行ないます。次に当番はホワイトボードに貼り出した教材を指しながら、カレンダー、数詞、天気を読み上げ、他の実習生はそれらを大きな声で復唱します。

このように活動自体は極めてシンプルな口頭でのドリル練習ですが、「継続は力なり」。時間にすると僅か10分程度の活動ですが、毎日、決められたルーティーンを着実にこなしていくことで、大きな成果が上がっています。また、朝一番に、皆で大きな声で日本語を復唱することで、その日1日の日本語勉強のスイッチがオンになったり、当番実習生を中心とした活動を続けることで、学習者の主体性を伸ばすことが出来たりと、目標言語の定着以外の学習効果も期待できる活動にもなっています。



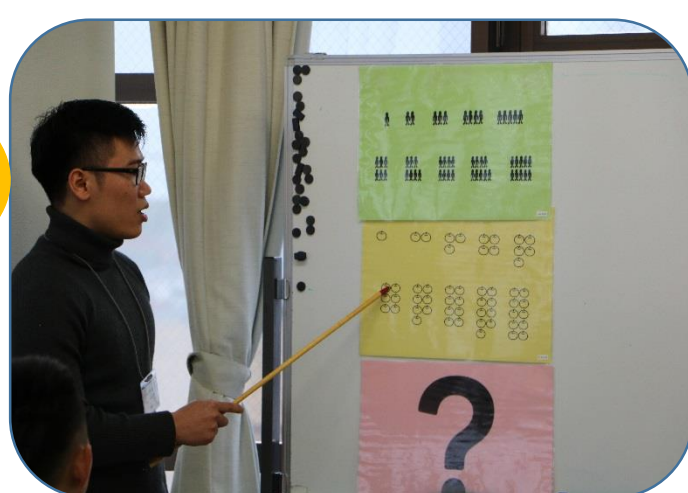
朝の会の始めに先生にあいさつをする当番実習生



当番の実習生による出席確認・健康チェック



カレンダーを読み上げる当番実習生



数詞（ひとつ・ふたつ・・・）を読み上げる当番実習生

※当校ホームページ <http://www.ajiken.jp/> から「あじけん通信」バックナンバーもご覧になれます